

oriori

愛知県立芸術大学 美術学部
デザイン工芸科・陶磁専攻3年

和傘を想起させるランプシェード

平山 千恵



高岡銅器の仏具と深い関わりを持つ側面と和傘の仏教的要素がマッチすると考えた。明るすぎない光量と鋳物特有の重厚感やシックな感じが「和」らしい空間を演出する。

傘は古来より運気を広げる「末広がり」の意味を持つ。円に近い形からは「家庭円満」や露払い、厄払いなどで物事が丸く納まる縁起物と言われている。また、雨の多い北陸地方には「傘渡し」という結婚式の風習がある。



E-17LED 使用。要所的に使われることを想定したサイズ。



和傘の折目が生み出すひだをイメージしたパーツ。



パーツの数と間隔、角度を変えてみた例。
パーツの組み方を変えることで今後の展開に繋げたい。